



ながしま

議会だより

NO.25

雨降らば滝現る

雨が降ると小浜ふれあい広場付近の断崖に出現する滝

6月定例会

(H24.6.8～6.18)

定例会で決まったこと.....	2～5
施策を問う（一般質問）.....	6～9
常任委員会の審査報告.....	10～11
東北地方への視察研修報告.....	12
議会のうごき.....	13

平成24年度の一般会計予算に

7億2641万1千円追加

総額96億3272万3千円

平成24年度の一般会計補正予算のほか、へき地診療施設、簡易水道、漁業集落環境整備の3特別会計補正予算を原案可決した。

今回、計上された予算の主な事業は次のとおり。

主な事業

防犯灯設置工事（25基）	2,783千円
大型宿泊施設の整備にともなう集客予測調査	4,273千円
日本損害保険協会寄贈の救急自動車用装備、資機材購入	25,998千円
テレビ共同受信施設建設補助金（本浦、浦底岳）	12,630千円
獅子島活性化に向けたふれあい交流やイベント開催等	17,130千円
長島朝市「恵比寿市」開催	1,000千円
ヒラメの放流事業	4,900千円
水産加工グループ育成補助	12,534千円
ながしま巡り「海・山探検ツアー」	1,000千円
幣串漁業集落排水施設のブロワ改修	2,287千円
農業用廃プラスチックの処理経費助成	3,000千円
林道獅子島中央線、七郎山線の改良	18,535千円
長島一周道路に石積みや法面石張りを整備	50,000千円
景観づくりのためツツブキ等の育苗や移植、植栽	30,000千円
町道山門野汐見線の道路整備	156,060千円
町道萩之牟礼茅屋線の道路整備	112,198千円
町道鷹巣杉ノ段線の道路整備	56,150千円
町道行人岳線の道路整備	107,340千円
湯ノ口地区の野積場舗装、護岸工事	12,242千円
長島港（口之福浦地区）整備のための測量設計	20,000千円



防犯灯を設置



廃プラスチック処理経費を補助



法面に石張りを整備



補正予算が計上された町道行人岳線の工事現場を調査する建設経済文教常任委員会

平成24年第2回長島町議会定例会は、6月8日から18日までの11日間の会期で開かれた。

平成24年度財団法人長島町観光公社の経営状況ほか1件が報告され、平成24年度の一般会計補正予算（7億2641万1千円追加、総額96億3272万3千円）や特別会計補正予算、長島町文化ホール舞台音響照明改修工事の工事請負契約締結、長島町印鑑条例の一部を改正する条例など議案8件を可決、陳情1件を採択した。



長島港（口之福浦地区）

その他

公有水面埋立

長島港（口之福浦地区）の港湾施設整備にともなう公有水面埋立の意見を、公有水面法第3条第4項の規定により議決した。

その他

損害賠償の和解

町道山門野汐見線の下山門野地内において、法面上部からの落石が走行中の普通自動車のタイヤやホイールにあたり使用不能となったことから、損害の賠償に関し和解することを議決した。（賛成13、反対1で可決）



落石があった法面

条例

印鑑条例を改正

住民基本台帳法の一部改正にともない外国人登録法が廃止になることから、長島町印鑑条例の一部を改正した。



舞台の音響、照明が改修される長島町文化ホール

契約

文化ホールの舞台音響照明改修

長島町文化ホール舞台音響照明改修工事を1億3650万円で株式会社松村電機製作所九州支店（福岡市）と契約締結することを議決した。

傍聴においでください

次回定例会は 9月上旬 に開会予定です

長島町議会の本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。

次回定例会は、9月上旬の開会を予定しています。皆さんの傍聴をお待ちしています。

なお、役場ロビーや長島町ホームページでも議会中継を見ることができます。



報告

歳出予算の繰越

平成23年度長島町一般会計の繰越明許費に係る歳出予算（五郎地平線林道開設事業Ⅱ3110万円、北さつま漁協長島支所事務所移転事業Ⅱ195万円、町道整備事業Ⅱ3億4522万円など）の繰越について報告された。

※繰越明許費Ⅱ歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由により当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、予算の定めるところにより翌年度に限り繰り越して使用することができるもの。

陳情

観光公社の経営状況

平成24年度の財団法人長島町観光公社の経営状況について、事業計画や予算が報告された。

学級の定数改善等

長島町鷹巣の坂中ひとみ氏から提出された「少人数学級の推進など定数改善、義務教育国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の要請について」を採択し、同趣旨の意見書を可決した。

一般質問 施策を問う

小川 武男 議員



文化財の適切な整備と郷土芸能の保護・継承に補助の強化を
文化財を観光資源に活か

上げ、適切に管理保存し、観光や学習教材に活用する考えはないか伺う。

質問 長島には県指定の小浜崎古墳群や「北方崎のへゴ」の天然記念物、町指定の獅子島鬼塚古墳等、多くの文化財がある。これらの文化財を適正に管理し後世に残す義務がある。民有地は町で買

町有化して後世に
答弁 町長 本町には県指定文化財5カ所町指定文化財30カ所がある。年次的に計画整備しているが、管理が不十分な所も見られる。今後は必要な所は町有化し、整備管理して後世に残したい。ま

た、観光資源に活用できるよう、魅力ある観光地づくり事業で整備できないか県と協議している。文化財を教材として活かせるよう指導していく。

DVD化し継承を

で後継者や指導者の不足で、継承が難しい現状である。今後は、補助金の増額やDVD化して、保存継承できないか伺う。

実情を調査 必要なら実施

島は、風光明媚で山海の食材豊かで今後さらに注目を集める島である。そこで、眺望の素晴らしい場所に展望所の建設や駐車場の設置ができないか。さらには県最北端岬が一望できる、御所ノ浦地区の国出付近に同様のビュースポットを建設して獅子島の価値を高める等、観光開発について伺う。

ワブキやブーゲンビリア等を一周に植栽して、特色ある観光地、オンリーワンづくりを図っていく。

展望所は島に何力所が必要と思っており、魅力ある観光地づくり事業や特定離島ふるさとおこし推進事業等で年次的に整備を進めていく。

＊他に次の質問をしました。

①農産物（特にジャガイモ）を活かした店舗、メニュー作りの指導と助成について

②通学路の安全の点検指導等は実施されているか

獅子島の観光スポットの整備を急げ

各集落に点在する10港に及ぶ漁港、港湾は、訪れた観光客を癒す場所になり、漁業や農業があり体験ツアーの取り組みもできる。

獅子島ウォーク等人気のあるイベントも定着している。今後はツ



どのような場所で行えるか、そして環境が整っているかという視点で整備すべきと考える。

質問 ②長島町総合振興計画の中で、総合運動公園整備事業として平成27年度に6億円の概算事業費が計上されている。平成17年に県の都市計画課へ運動公園整備計画の書類が提出され、取り下げた経緯もあるようであるが当時の規模、工事の内容等と現在計上されている6億円の概算事業費の根拠、また17年当時の整備計画の図面・資料が存在しているのか。

この協議はしたが、県への申請あるいは取り下げた経緯はない。従って図面もなく概算である。

今後、過疎自立促進計画では予定として平成27年度に、総合振興計画後期基本計画では3月議会で議決されていることから、来年度あたりから検討に入ろうと思っている。

今後、過疎自立促進計画では予定として平成27年度に、総合振興計画後期基本計画では3月議会で議決されていることから、来年度あたりから検討に入ろうと思っている。

答弁 町長 合併後も一時開設し、利用者は情報交換の場として活用してもらったが、心無い利用者が個人や団体等に対し誹謗中傷やそれに対して意見を書き込むなどのルールやマナー等を守れない利用が多く見受けられたことから閉鎖したところであり、現在のところ掲示板の開設は考えていない。

質問 「例規集」開示の掲載時期は。

答弁 町長 現在、システムづくりを進めており、8月上旬には公開できる予定である。



福永 伸親 議員

鷹巣運動場の整備計画は

質問 「町有施設のあり方検討委員会」の答申は、町内に3つある運動場（鷹巣・川床・城川内）については今後も維持し、鷹巣運動場は、今後のスポーツ人口を見据えて建設の是非を決めるべきであり、必要と判断されれば、一人でも多くの町民がスポーツに親しむことができるような施設を建設すべきと答申がなされた。

児童も減少していく中で、今後スポーツ競技人口が増加するのか疑問である。また、整備の状況については、グラウンド内の土の入れ替え、バックネットの補修等も実施されたようである。もし、再整備するのであれば現在の施設の改修で十分と考えるが、現在の運動場で支障をきたしているのか。町民の関心も大変高い訳であるが、整備についての対応は。

答弁 町長 実際にスポーツをする人たちが

答弁 町長 この件については、運動公園ではどういう整備ができるかということで、公園法の法律に基づく公園整備ができるという



鷹巣運動場

林 義明 議員



災害時の危機管理は

質問 東日本大震災を引き起こした活断層は、国内に98カ所あり、九州に6カ所、そのうち3カ所は、雲仙活断層、日奈久活断層、出水活断層であり、地震がいつ発生してもおかしくない状況にある。東日本大震災の被害状況を見、活断層が身近にあることを考えると、わが町の災害対応はどうなっているのか、次のことについて伺う。

②町立小中学校の危機管理は

答弁 町長 ①自主防災組織の活動は、防災訓練に20の自主防災組織が参加、3つの自主防災組織が単独での防災訓練を実施、その他救命講習会などを実施、また行政連絡役員会議等で防災訓練等を希望される集落には、消防分遣所職員などが出向いて手伝いをする。今後は町の姿勢だけでなく、積極的に働きかけていく。

環太平洋連携協定(TPP)の対応は

質問 国会議員、全国の都道府県の知事、議会、市町村議会でも多数の団体が反対していると言われている中で、「首相、来月参加表明も」と報道された。まだまだどうなるかわからない問題であるが町長の考えを伺う。

答弁 町長 TPP

は、広い分野での影響が考えられるが、一次産業に限ってみると、本町の場合、でん粉用甘藷や畜産等において壊滅的な影響を受けることが考えられるので県および町を挙げて反対する。

町長の考えを伺う。

答弁 町長 国全体での食糧自給率は、現在40%、国はTPPに参加することにより50%まで上がるとしているが、専門機関の調査では約13%まで落ちると予想する動きもある。

本町における自給率は平成21年度で19.1%となっており、現在の作物栽培が大幅に変わらない限り変動はないと考えるが、原点に返った農業、漁業の一次産業の振興を図る対策をとっている状況である。

磯永 秀生 議員



山寺の大規模養鶏場の計画内容は

質問 鷹巣山寺地区の大規模養鶏場の許可に至るまでの経緯および計画内容についてと周辺集落の意見について伺う。

①許可に至るまでの経緯と計画内容は

②水源地への影響など関係周辺集落の話し合いはなされたのか

答弁 町長 町へ農業振興計画の用途変更の申請があり、農業委員会へ諮問し平成23年4月に答申を受けた。県

と協議し6月回答を受け敷地の造成一部不足部分の用途変更を農業委員会へ諮問している。

①施設の計画内容は、1530㎡の鶏舎が4棟で、それに付随する施設、管理棟、沈殿槽、合併浄化槽等で、年間46万8000羽の飼育と聞いている。

②一部地区について反対があり県に確認したが、隣接地の同意は条件であるが、地域の同意は条件ではないとのことである。

③学校敷地を体験観光の場として考えられないか。

④スポーツ合宿させる場所としての考えはないか。

長島高校の跡地活用は

質問 町では、今まで5年余り長島高校跡地の問題を検討され、議会でも跡地活用調査特別委員会を設置して検討中であるが、まだ解決に至っていない。長島高校跡地は、長島の中心部にあり一日の日当たりがいい立地条件を活かし活用する考えは。

①町が太陽光発電等、新エネルギー開発の場として考えられないか。

②造形展の作品を保存し、展示する場としての活用は考えられないか。

③学校敷地を体験観光の場として考えられないか。

④スポーツ合宿させる場所としての考えはないか。

⑤跡地を観光施設として活用する考えはないか。

の閉校以来、企業誘致による活性化を念頭にパンフレットを作成しさまざまな活動をしてきたが、誘致の実現ができていない。

①町が太陽光発電等の新エネルギー開発の施設整備に係る費用対効果の試算では、採算性に乏しく容易に実施できる事業ではない。

②造形展の展示場所としては、施設や作品の管理に経費がかかり、作品の展示は、新鮮さと会場の雰囲気味わうため現在の会場での展示を考えている。

③高校跡地には農地がない。

④スポーツ合宿の場としては設備面で活用できる状況ではない。

まずは雇用を伴う企業の誘致活動を第一として研究を進めていく。

観光課新設の考えは

質問 町の観光振興の推進と情報発信のために観光課を新設する考えはないか。

答弁 町長 県内の観光課設置状況は、多くの市町村が、商工、水産、産業等の業務を持って観光振興を図っている状況である。今後観光だけを独立するより他の業務も持ちながら観光振興を図っていく。



活用が望まれる長島高校跡地



1次産業への影響が懸念されるTPP

常任委員会の審査報告

各常任委員会の主な審議内容を紹介

総務民生常任委員会 委員長 小川 武男

▼総務課関係

問 大型宿泊施設の整備に伴う調査費の委託先と調査内容は。

答 宿泊・温泉・宴会・結婚式等の利用状況や消費者のニーズを町内や周辺地域の調査を行う。委託先は専門的な調査・分析が行える業者を考え、調査結果をもとに、検討委員会

救急資機材の整備を行う。救急救命士は最低で3人必要であり、今後は職員の育成や有資格者を採用し、救急体制の充実を図る計画である。

▼企画財政課関係

問 新たな難視地区自主共聴施設補助金の対象戸数と補助率の違いは。

答 対象戸数は本浦区20戸、浦底岳7戸でアンテナからの電線距離が300mを超える

託料の内容は。
答 獅子島地域の活性化に向けた、ふれあい交流対策やイベント開催等に関する事業経費でバスダイヤ編成等調査研究費200万円、魅力満載ツアー462万円、婚活パーティー委託料300万円、獅子島フエアー運営委託料350万円、獅子島ウォーク運営委託料100万円等である。

▼町民福祉課関係

問 身体障害者更生援護事業費で手術費用の負担割合は。

答 対象者は生活保護費を受給し、保険証がない。高額または継続

的な医療を必要とする障害者であり、医療費の自己負担額の529万円を助成する。
問 養護老人ホーム長生園の入所状況と待機者は何人か。

から再開所したが、現状は。
答 2年間のプランクと週3回の診療のため、患者が少なく経営的に厳しい状況である。

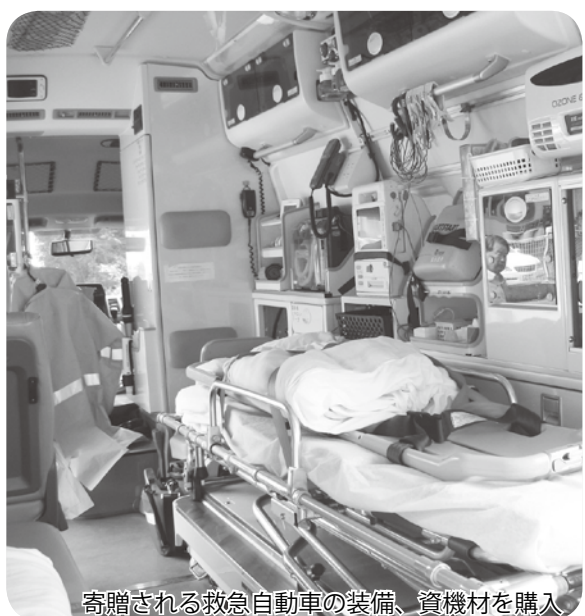
▼保健衛生課関係

問 予防接種事業の委託料はどこに支払うのか。また、対象人数は。

書類審査後、4月から公設民営化に移行した平尾診療所のほか、施設の現地調査を行った。現地調査を終えて、次の意見が出された。

東分遣所は老朽化が進み、町民の生命と財産を守る施設としてふさわしくない状況なので、早期に建替える必要がある。

川床診療所は、患者数が少なく経営が非常に厳しい状況であるので、地域ニーズに対応した運営を行い、良好な経営が行われるよう適切な管理に努めてほしい。



寄贈される救急自動車の装備、資機材を購入

建設経済文教常任委員会 委員長 下塩見 浩

▼耕地課関係

問 灌漑用水および防除用水用の小浜地区、火ノ浦地区の貯水槽の建設費や規模は。

答 建設費約200万円、鉄筋コンクリート製蓋付きの20t貯水槽の予定である。

問 町単独事業の土地改良事業で今年度の状況は。

答 造成は600万円、客土が400万円、深耕が300万円となっており、要望が多い状況である。

▼建設課関係

問 長島ぐるっと一周景観推進事業の石積み工や法面の石張り工の計画箇所と距離、そして町道、県道両方計画しているのか。また、ツツブキの育苗の委託先と作業内容はどうか。

答 全体の延長は5kmで申請しており、町道県道とも計画する。計画箇所は景観推進課と協議して決定したい。

問 公有水面埋立免許の出願に係る意見について、長島港（口之福浦地区）の組合員数や漁船数は。

答 組合員数22人、漁船数は39隻で、施設の充足率は現在43%である。

▼農林課関係

問 農地集積協力金交付事業の内容と対象者はどれくらいか。

答 新たに国の施策として平成24年度から取り組む。青年就農者の定着支援や農地の利用集積を促進するため、

地域マスタープランを作成する事業である。町全体では100人程度が該当すると考えている。今後全農家を対象にアンケート調査などを行い、実態を把握して（人、農地プラン）作成する。

▼水産商工課関係

問 宮ノ浦、白瀬、薄井3地区の水産加工グループへの補助内容と事業期間はどうか。

答 建物工事は事業費の3分の2、人件費を除いた運営費や備品購入費は2分の1である。単年度で500万円以内の補助とし、平成28年度が最終年度である。

▼社会教育課関係

問 獅子島力ヌー横断大会の内容は。

答 事業費310万円で、前夜祭やフォーラム、本町の子どもたちのカヌー横断大会、一般および高校生を全国から募集し、1人乗り2人乗りのシーカヤックによるカヌーマラソンなど4つの事業を検討中である。

ンなど4つの事業を検討中である。

▼水道課関係

問 長島町簡易水道の統合計画はどうか。

答 平成28年度で長島本島を1上水事業、獅子島地区は簡易水道事業に年次的に統合していく予定である。

問 獅子島御所ノ浦地区の多目的ダムは活用できないのか。

答 現在、多目的ダムから取水しているが、早期米の作付けや水利権等、集落からの要望もあり取水が難しい状況である。

▼社会教育課関係

問 獅子島力ヌー横断大会の内容は。

答 事業費310万円で、前夜祭やフォーラム、本町の子どもたちのカヌー横断大会、一般および高校生を全国から募集し、1人乗り2人乗りのシーカヤックによるカヌーマラソンなど4つの事業を検討中である。

学級の推進など定数改

善、義務教育国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択」については採択とした。

当委員会の意見として、町道山門野汐見線の賠償金について、地元住民から日ごろから落石の情報や落石防止対策の要望もある中、防護柵設置などの対策がなされていないことが原因であると思う。今後、町の落石防止対策が必要な箇所については、重大な事故が発生しないように各所管課で早急に調査し、防止対策をとってほしい。

また、農林課の廃プラ処理補助金300万円についても、農家への周知が遅くなった分、不公平にならないよう、また、多くの農家が恩恵を受けられるよう支援対策をとってほしい。

議会のうごき

3月8日 9月26日 13日 21日 22日 23日 27日 28日 30日 31日 4月5日 6日 10日 11日 19日 20日 21日 22日 24日 26日 27日 1日 2日 5月

長島町農業委員会総会
第1回長島町議会定例会
町内中学校卒業式
赤潮被害対策施設現地調査
第2回長島町議会活性化調査特別委員会
第3回長島町赤潮対策協議会
町内小学校卒業式
長島町例月出納検査
鹿児島県過疎地域自立促進協議会理事会
長島町教育関係者・管理職合同送別会
北薩広域行政事務組合議会
鹿児島県いずみ農業協同組合長島バレイショ選果施設落成式
夢追い長島花フェスタ開会式
出水共同高等職業訓練校入校式
町内小・中学校入学式
転入学校教職員宣誓式
長島町農業委員会総会
長島町議会全員協議会
議会だより編集委員会
長島町教育関係者・管理職合同歓迎会
第5回関西ながしま会
長島町例月出納検査
鹿児島県町村議会議長会理事会
県政説明会
議会だより編集委員会
水俣病犠牲者慰霊式
第2回長島町議会臨時会

2日 長島町議会全員協議会
第3回長島町議会活性化調査特別委員会
第2回長島町議会定数・報酬等に関する調査部会
夢追い長島花フェスタ閉会式
鹿児島県建設業協会出水支部総会
鹿児島県離島町村議会議長会議長研修会
長島町農業委員会総会
愛媛県宇和島市議会行政視察受入
鹿児島県町村議会議長会臨時総会
鹿児島県町村議会議長会議員研修会
獅子島招魂祭
長島町例月出納検査
阿久根地区消防組合議会
特別養護老人ホーム桃源郷増築・一部改修工事落成式
長島町商工会第6回通常総会
東北地方への視察研修
北薩広域行政事務組合議会臨時会
北薩摩観光連絡協議会総会
全国町村議会議長・副議長研修会
第4回長島町議会基本条例等検討部会
長島町議会運営委員会



東日本大震災の被災地を視察

東北地方への視察研修報告

副議長 児島 薩男



建物の基礎と公共的な施設の骨組みだけが残る南三陸町

私たち議会は、5月23日から3日間、東日本大震災地を視察したので報告します。
視察した地区は、宮城県名取市閑上地区、岩手県宮古市田老地区、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、宮城県気仙沼市、南三陸町を視察しました。
平成23年3月11日午後2時46分地震発生、地震発生後約30分に第1波津波襲来から被害の状況は、テレビ、新聞等で報道されていたので、その被害の甚大さは予想していたものの被災地の広大さ、瓦礫の山を拝見したとき、想像を絶するものでした。
現在は、住宅跡地はほとんど片付けられており、残りは公共施設の建物が被害を受けたままの状態が残っていました。個人住宅の処理は国が行い、公共施設はその自治体または団体が処理することになっているとのことでした。

現在、死者行方不明者が1万8812人、被災した家屋111万1530棟（全半壊、一部破損）であり、瞬にして生命財産を奪っています。
宮城県南三陸町の防災庁舎で、最後まで避難を呼びかけ犠牲になった女子職員など、犠牲になった防災施設の建物が被災を受けたそのままで残されており、津波の威力・恐ろしさが想像できませんでした。
施設の残骸に犠牲者を悼み献花台が設置されており、その他の地区にも献花台が設置してありました。改めて犠牲になられた方々に心からお悔やみとご冥福をお祈りします。

当該地方はこれまで明治29年、昭和8年、昭和35年チリ地震など、地震・津波で甚大な生命・財産を失い、地震・津波災害の恐ろしさは身をもつて経験してきていたはずでした。しかし、今回の津波の大きさが想像以上で想定外であったことが多くの犠牲者を出したことになったと思われまます。
宮古市田老地区は、過去の最大津波の高さが10mだったので、それより50cm高い10・5mの防潮堤、延長2400mを昭和54年に完成しており、地元住民はこの防潮堤を建設したので、これを超える津波は来ないと信じていたため、逃げ遅れて4434人のうち200人近くが犠牲になっています。

東北大震災を受けた岩手県、宮城県、福島県はリアス式海岸であり、地震津波の被害を受けやすい地域であると言われていました。そのため過去の経験を活かし「被害を受けない」「犠牲者を出さない」ことを教訓にしている地区もありました。
大船渡市吉浜地区は、先人の教えで「家は海岸近くの低いところに建てない」を守り、被害がほとんどありませんでした。また、釜石市釜石東中学校と鶴住居小学校は、日ごろから避難訓練をしていたため、そのことが実践されていて1人の犠牲者も出ていないとのことでした。

政、住民の連帯意識を共有することも必要と感じました。
長島町は、過去大きな津波等の被害の記録はありませんが、平成9年3月、鹿児島県北西部の地震マグニチュード6・3が発生し、負傷者、住宅の全壊などの被害が出ています。

また、長島町は土石流危険区域の指定地域も多く、豪雨による土砂災害の危険性が高い地域であります。かねてから、災害に備えて各地域の自主防災組織を活かしたまちづくりを推進することが大切であることを痛感しました。

まちの話題



44 チームが集結し熱戦

7回目を迎えた自治公民館対抗ゲートボール大会が6月4日から10日まで開催された。

同大会には町内の25自治公民館から44チームが参加し、3つのランクで予選会、決勝大会が行われ、熱戦が繰り広げられた。

各ランクの優勝チームは次のとおり。

- Aランク 脇崎チーム
- Bランク 菅牟田Aチーム
- Cランク 母良木Bチーム

時間最大雨量 88mm を記録

6月16日から17日にかけて町内では大粒の雨が降り続き、河川の氾濫や護岸崩壊、床上・床下浸水、断水、田畑の流失などが発生した。

さらに県道の冠水や町道のがけ崩れ、陥没、地すべりなどが相次ぎ、交通にも影響が出た。

この雨で時間最大雨量 88mm、連続雨量 418mm を加世堂観測局で記録している。



護岸が崩壊した城川内川

◆編集後記

今年の梅雨は長期でゲリラ的な豪雨でした。

6月16日の豪雨は、時間雨量 88mm と過去に例のない雨量で、各地域に甚大な被害をもたらしました。これも地球温暖化の影響でしょうか。

現在、災害復旧のための測量が急ピッチで進んでいます。早期の工事着手があるものと思います。

梅雨が明けますと、暑い日が続きますが、熱中症が心配になります。すでに熱中症になり病院に運ばれたと連日報道されています。

わが町は一次産業が主体の町で、屋外の仕事が多いので、十分気をつけて働いてもらいたいと思います。

(林)

- 【編集責任者】 植元 敏光
- 【編集委員長】 林 義明
- 【編集副委員長】 古田 一博
- 【委員】 川上 勇
- 福永 伸親
- 石橋 束